

清水大会でハッスル だが問題点も浮きぼり

少年選抜
神戸市

神戸市少年選抜チームは12月25、26、27、28日、静岡県清水市で開かれた第5回清水招待サッカー大会に参加した。大会は全国から集まった24チームが4ブロックに分かれて予選リーグを戦い、そのあと順位決定戦を争った。神戸市選抜はBブロックの予選リーグで、3勝2敗の3位となり、9-12位を決める順位決定戦では、全藤枝に敗れたあと全清水5年と引き分け11位に終わった。

52年度に初めて組織された選抜チームの強化は、8月から本格的にスタートしたが、対外試合が少なく、清水大会の直前に大阪へ遠征した程度で、来年度からは実戦を通じて行う指導にもウエイトをおく必要がある。

しかし、清水大会で神戸市選抜は全力を出し切り、観衆から健闘をたたえる惜しめない拍手が送られた。

選手 高島良明(成徳)、早川信行、西村和信、春山本祥、池沢明生、新井宏治(以上蓮池)、竹内則夫、牧野健太郎(以上桜宮)、木村謙司(千歳)、橋本英治、山田真一(以上多井畑)、増田敦士(高倉台)、辻勝憲(丸山)、尾崎公一、溝畑哲朗、定成吉高、山路義生(以上神戸FC)

＝ 17人



神戸市少年選抜チームの選手たち

52年度神戸市少年リーグ成績

1部Bグループ1組

順位	チーム	丸山	北須磨	渦森	垂水SS	千歳	鶴越B	勝点	得失点差
1	丸山A	●	○ 2-0	○ 7-1	○ 3-1	○ 4-1	○ 10-0	10	24
2	北須磨	○ 0-2	●	○ 4-0	○ 2-2	○ 2-1	○ 11-1	7	13
3	渦森	○ 1-7	○ 0-4	●	○ 2-0	○ 0-0	○ 1-0	5	-7
4	垂水SS	○ 1-3	○ 2-2	○ 0-2	●	○ 1-3	○ 2-0	3	-4
5	千歳	○ 1-4	○ 1-2	○ 0-0	○ 3-1	●	○ 0-1	3	-4
6	鶴越B	○ 0-10	○ 1-11	○ 0-1	○ 0-2	○ 1-0	●	2	-22

1部Bグループ2組

順位	チーム	箕谷A	高倉台A	名倉A	成徳A	神戸SS	神戸FC	勝点	得失点差
1	箕谷A	●	○ 4-3	○ 1-1	○ 4-0	○ 6-0	○ 5-0	9	16
2	高倉台A	○ 3-4	●	○ 4-1	○ 0-0	○ 3-1	○ 5-0	7	9
3	名倉A	○ 1-1	○ 1-4	●	○ 1-1	○ 5-0	○ 5-0	6	7
4	成徳A	○ 0-4	○ 0-0	○ 1-1	●	○ 5-0	○ 5-0	6	6
5	神戸SS	○ 0-6	○ 1-3	○ 0-5	○ 0-5	●	○ 5-0	2	-13
6	神戸FC-B	○ 0-5	○ 0-5	○ 0-5	○ 0-5	○ 0-5	●	0	-25

1部Cグループ1組

順位	チーム	成徳B	桜宮	御影B	神陵台B	千歳B	勝点	得失点差
1	成徳B	●	○ 1-0	○ 2-0	○ 3-0	○ 2-0	8	8
2	桜宮	○ 0-1	●	○ 5-1	○ 4-0	○ 3-0	6	10
3	御影B	○ 0-2	○ 1-5	●	○ 2-0	○ 1-1	3	-4
4	神陵台B	○ 0-3	○ 0-4	○ 0-2	●	○ 5-0	2	-4
5	千歳B	○ 0-2	○ 0-3	○ 1-1	○ 0-5	●	1	-10

1部Cグループ2組

順位	チーム	北五葉	高倉台C	板宿B	ひより台	高倉台B	YMCA	勝点	得失点差
1	北五葉	●	○ 1-0	○ 4-0	○ 2-0	○ 6-0	○ 6-0	10	19
2	高倉台C	○ 0-1	●	○ 3-0	○ 0-2	○ 1-0	○ 2-1	6	2
3	板宿B	○ 0-4	○ 0-3	●	○ 2-1	○ 1-0	○ 3-1	6	-3
4	ひより台A	○ 0-2	○ 2-0	○ 1-2	●	○ 0-0	○ 5-0	5	4
5	高倉台B	○ 0-6	○ 0-1	○ 0-1	○ 0-0	●	○ 1-1	2	-8
6	YMCA-A	○ 0-6	○ 1-2	○ 1-3	○ 0-5	○ 1-1	●	1	-14

1部(小学男子5、6年生) 最終順位

①位 神戸FC・A ②東灘A ③蓮池A ④室内A ⑤多井畑 ⑥鶴越A ⑦神陵台A ⑧東灘B ⑨板宿A ⑩御影A ⑪丸山B ⑫蓮池B (以上は第1面と重複) ⑬丸山A ⑭箕谷A ⑮北須磨 ⑯高倉台A ⑰渦森 ⑱成徳A ⑲成徳B ⑳垂水SS ㉑神戸SS ㉒千歳A ㉓鶴越B ㉔神戸FC・B ㉕北五葉 ㉖成徳B ㉗高倉台C ㉘桜宮 ㉙御影B ㉚板宿B ㉛ひより台 ㉜神陵台B ㉝高倉台B ㉞千歳B ㉟神戸YMCA-A

2部(小学男子3、4年生) 最終順位 Aグループ

順位	チーム	神戸FC	東灘C	箕谷B	蓮池C	勝点	得失点差
1	神戸FC-C	●	○ 3-1	○ 0-0	○ 3-2	5	3
2	東灘C	○ 1-3	●	○ 1-0	○ 3-1	4	1
3	箕谷B	○ 0-0	○ 0-1	●	○ 3-1	3	1
4	蓮池C	○ 2-3	○ 1-3	○ 1-3	●	0	-5

Bグループ

順位	チーム	成徳C	御影C	名倉B	YMCA	勝点	得失点差
5	成徳C	●	○ 2-0	○ 5-0	○ 11-0	6	18
6	御影C	○ 0-2	●	○ 2-0	○ 1-1	3	0
7	名倉B	○ 0-5	○ 0-2	●	○ 1-0	2	-6
8	YMCA-A	○ 0-11	○ 1-1	○ 0-1	●	1	-12

Cグループ

順位	チーム	神戸FC-D	鶴越C	神陵台C	ひより台	千歳C	勝点	得失点差
9	神戸FC-D	●	○ 0-2	○ 2-0	○ 4-2	○ 5-0	6	7
10	鶴越C	○ 2-0	●	○ 0-2	○ 3-0	○ 3-1	6	5
11	神陵台C	○ 0-2	○ 2-0	●	○ 2-1	○ 4-1	6	4
12	ひより台B	○ 2-4	○ 0-3	○ 1-2	●	○ 1-0	2	-5
13	千歳C	○ 0-5	○ 1-3	○ 1-4	○ 0-1	●	0	-11

3部(小学生女子) 最終順位

①位 蓮池A 8勝2分0敗、②桜宮 7-3-0、③箕谷 7-0-3、④高倉台A 5-3-2、⑤神陵台A 4-4-2、⑥北五葉 5-2-3、⑦渦森 4-1-5、⑧ひより台 2-3-5、⑨多井畑 2-1-7、⑩高倉台B 1-1-8、⑪蓮池B 0-0-10

予選リーグ戦成績 (Bブロック)

順位	チーム	浜松	宮城	神戸	富士宮	百合丘	清水	勝点	得失点差
1	浜松JFC	●	○ 2-0	○ 3-1	○ 7-0	○ 4-0	10	17	
2	宮城県選抜	○ 0-2	●	○ 4-1	○ 0-0	○ 4-0	7	7	
3	神戸市選抜	○ 0-2	○ 1-4	●	○ 3-1	○ 4-0	6	8	
4	富士宮	○ 1-3	○ 0-0	○ 1-3	●	○ 3-1	5	0	
5	百合丘	○ 0-7	○ 2-4	○ 0-4	○ 1-3	●	2	-8	
6	清水FC・4年	○ 0-4	○ 0-4	○ 0-7	○ 0-2	○ 0-7	0	-24	

少年リーグのレベルアップを 課題は「ボールコントロール」

少年選抜監督 黒田和生

選抜チームとしてまとまった練習が少なく、コンビがとれない一抔(まつ)の不安が現実のものとなって、予選リーグの初戦で全宮城に敗れましたが、次第に調子をあげ選手たちは神戸でプレーしている時の実力を発揮できるようになりました。最終順位は11位でしたが、全国から集まったチームからいろいろと学ぶことができました。

この大会に参加して、選抜チームの選手が年間を通じて試合を行っている神戸市少年リーグのレベルが、まだまだ十分でないことを感じました。神戸市の選手がこれから身につけなければならない点として 1. ワンタッチでコントロールできるボール扱いのやさしさ 2. ボールを受けたあとのすばい振り向き動作 3. プレーの意図をはっきりする 4. パスのタイミングの習得 5. ヘディングのせりあい 6. 短い距離でのダッシュなどがあげられます。

試合の結果はあまりよくありませんでしたが、選手たちは次の試合を強く望んでおり、やる気十分です。少年たちは試合を経験するたびに上達しており、1月5、6、7日神戸で行われた第5回ジュニアウインターフェスティバルでは、全国から集まった10チームの中で堂々3位の好成績をあげました。神戸市内の少年選手が選抜チームのメンバーになれることを目標にしてサッカーに取り組み、またチームの指導者が少年リーグのレベルアップに一段と努力していただくことができれば、選抜チーム編成の所期の目的に少しでも近づくことになると思います。

なお、今回の遠征に際し、多くの方々からご援助をいただき深く感謝いたしております。ここに厚くお礼申し上げます。



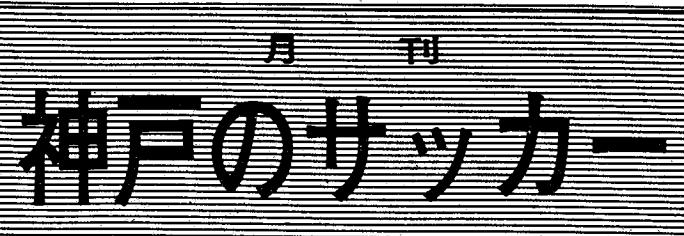
個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として50円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

〒657 神戸市灘区上野通6丁目3-12

加藤 正信 ☎078 (861) 3100

なお、数人分をまとめて申し込まれる場合は、郵送料の割引がありますのでご連絡ください。



神戸FCが優勝

神戸市少年リーグ リーグ運営一段と充実

52年度神戸市少年リーグは、昨年の5月から9カ月間にわたり熱戦をくり広げたが最終日の1月29日、1部(小学男子5、6年生年齢以下)の決勝が神戸中央球技場で行われ、神戸FC・Aが東灘Aを破って優勝した。そのあと閉会式に移り、1部優勝の神戸FC・Aに河本春男・神戸市協会会長から河本杯が、また2部(小学男子3、4年生)優勝の神戸FC

・Cと3部(小学女子)優勝の蓮池Aにはそれぞれ玉井杯が贈られ、リーグを通じ心身ともに大きく成長した選手たちは、お互いの健闘をたたえあった。(4面に関連記事)



1、2、3部の前、後期リーグおよび順位決定戦をすべてあわせると、試合は300の数になるが、指導者をはじめ関係者の積極的な協力が得られ、順調なリーグ運営が行われた。また、少年審判員制度など新しい試みもとり入れ、9カ月間にわたる長期リーグは、多くの収穫をあげて無事に終えた。

リーグ形式

1部は参加35チームが抽選で6組に分かれて前期リーグを戦い、その成績で後期リーグのグループ分けを決めた。前期リーグの各組の1、2位チームが後期Aグループの2つの組に振り分けられ、同じように前期3、4位をBグループに、そして5、6位をCグループとした。後期リーグの同じグループ内の1、2組の同順位チームが順位決定戦を行って、

神戸市少年リーグを終えて 9カ月の長期日程

昨年5月から始まった少年リーグは、グラウンド不足や膨大な数にのぼる試合の消化など、いくつかの問題を抱えながらも無事終了しました。まず、この紙面をお借りして少年サッカー育成にご尽力いただきました方々に、心からお礼を申し上げます。

子供たちがいつでも、どこでも、楽しく、また正しいサッカーができる環境を作ること、その中から1人でも2人でも日本で、いや世界で通用する選手が生まれ育っていくことを、私たちは願っています。

そのために、9カ月にわたる少年リーグを組み、指導者講習会や研修会、パークスキームを開いたり、選抜チームを編成するなど、常に新しい試みを展開してきました。52年度では特に、リーグの運営を円滑にし、チームの中におけるリーダーの資質を高めるため少年公認審判員規程を設け、それに合格した少年委員会から認定された少年審判員が、リーグの運営を担いました。また、少年委員会規約を新たに設け、はっきりとした少年サッカー育成の組織を作り、少年サ

ッカーの普及発展を図ってきました。

このように関係者の努力で、少年サッカーの底辺は確実に広がり、熱心な指導者もふえてきています。しかし、残念ながら指導者の社会的評価はあまり高くなく、貴重な時間をさいての技術指導の奉仕に対する償いは、まだ十分ではありません。それに、サッカー少年団の数やチーム数はふえても、それを支える母集団や後援会組織の整っていない団が依

少年の成長を願う

神戸市協会少年委員長 田上由雄



然として多く、そのために団活動が思うにまかせず、組織、財政など、どの面からみても解決しなければならない問題が山積されています。これからは、母集団の育成にも力を注ぎ、地域に根ざしたサッカーを育て、社会活動が正当に評価されるよう努力していかねばなりません。一個人の力だけでは及ばず

最終順位を決定した。13チームが参加した2部も、1部リーグとほぼ同じ方式をとった。前期の成績によってA、B、Cの3グループに分けて、後期リーグを行い最終順位を決めた。また、3部は1、2部とは異なり、シーズンを通して1回総当たりのリーグ戦とした。

順位決定戦(1部:小学男子5、6年生)

1位 神戸FC-A(1組1位) 3-0 東灘A(2組1位)
3位 蓮池A(2組2位) 2-2 室内A(1組2位)
PK4-3
5位 多井畑(2組3位) 3-0 鶴越A(1組3位)
7位 神陵台A(2組4位) 2-1 東灘B(1組4位)
9位 板宿A(2組5位) 1-0 御影A(1組5位)
11位 丸山B(1組6位) 3-1 蓮池B(2組6位)

1部Aグループ1組

順位	チーム	神戸FC	室内A	鶴越A	東灘A	御影A	丸山B	勝点	得失点差
1	神戸FC-A	●	○ 2-0	○ 3-0	○ 3-0	○ 6-0	○ 1-0	10	15
2	室内A	○ 0-2	●	○ 1-1	○ 1-1	○ 2-1	○ 1-0	6	0
3	鶴越A	○ 0-3	○ 1-1	●	○ 0-0	○ 2-1	○ 2-1	6	-1
4	東灘A	○ 0-3	○ 1-1	○ 0-0	●	○ 0-0	○ 2-0	5	-1
5	御影A	○ 0-6	○ 1-2	○ 1-2	○ 0-0	●	○ 3-0	3	-5
6	丸山B	○ 0-1	○ 0-1	○ 1-2	○ 0-2	○ 0-3	●	0	-8

1部Aグループ2組

順位	チーム	東灘B	蓮池A	多井畑	神陵台A	板宿A	蓮池B	勝点	得失点差
1	東灘A	●	○ 4-1	○ 6-1	○ 10-0	○ 10-0	○ 8-0	10	36
2	蓮池A	○ 1-4	●	○ 2-1	○ 1-1	○ 4-0	○ 14-0	7	16
3	多井畑	○ 1-6	○ 1-2	●	○ 1-0	○ 2-2	○ 8-0	5	3
4	神陵台A	○ 0-10	○ 1-1	○ 0-1	●	○ 1-1	○ 7-0	4	-4
5	板宿A	○ 0-10	○ 0-4	○ 2-2	○ 1-1	●	○ 1-0	4	-13
6	蓮池B	○ 0-8	○ 0-14	○ 0-8	○ 0-7	○ 0-1	●	0	-38

第4面に続く

兵庫選抜が出場

3月 全日本選抜中学生大会

日本サッカーの次代を築く優秀な選手を広い範囲から集めて育てようと、第1回全日本選抜中学生大会が3月下旬から4月上旬にかけて東京で開かれる。ユース代表、日本代表へ続くすぐれた人材の発掘と育成を、中学生年齢まで広げようとするものである。

54年には第2回世界ユース選手権大会が、日本で開催されることが決定しており、昨年の夏には、同様な目的で全国高校地域選抜研修会が実施された。枚方FC出身の佐々木選手が、抜群の個人技で魅惑的なサッカーをみせて一躍注目をあびたように、この中学生大会でも、将来国際的に通用する高い個人技をもった選手の出現が期待されている。

大会期間中は研修試合、技術研修会、指導者研修会なども行われることになっており、中学生年齢の大幅なレベルアップを図る方針である。同時に、この大会をきっかけとして、日本の各地域にすぐれたプレーヤーを育てる機運を盛りあげ、全国の指導者による優秀選手選抜のための組織を確立する目的も含まれている。なお、準決勝と決勝の試合はテレビ放映される予定である。

優れた素材を育てる

出場するのは日本の10地域の選抜チームで、できるだけ広い範囲から選抜することとし、単一チームよりの選手は4人以下の

条件がつけられている。第1回目の今年度に限って、日本協会技術委員会から推薦されたチームが参加するが、関西からは兵庫選抜が選ばれた。

1月22日、兵庫県下の各地区から推薦された中学1、2年生68人が神戸市立御影工に集合し、グループに分かれて試合を行った。兵

庫選抜チームの監督に予定されている前本勇二郎氏(兵庫協会中学委員長)ら関係者が、慎重に選考した結果、25人の第1次候補が決定。この日は姫路地区の選手が参加できなかったため、兵庫協会では姫路の選手を含めた範囲で、最終的に16人の兵庫選抜チームの選手を近いうちに決める方針である。

兵庫県で中学の選抜チームを編成するのはもちろん初めて。これを機会に充実しようと、関係者のかける期待は大きい。

出場チーム 北海道(北海道)、宮城県(東北)、富山県(北信越)、埼玉県(関東)、静岡県(東海)、兵庫県(関西)、広島県(中国)、香川県(四国)、熊本県(九州)、東京都(開催地)

葺合クラブが最有力

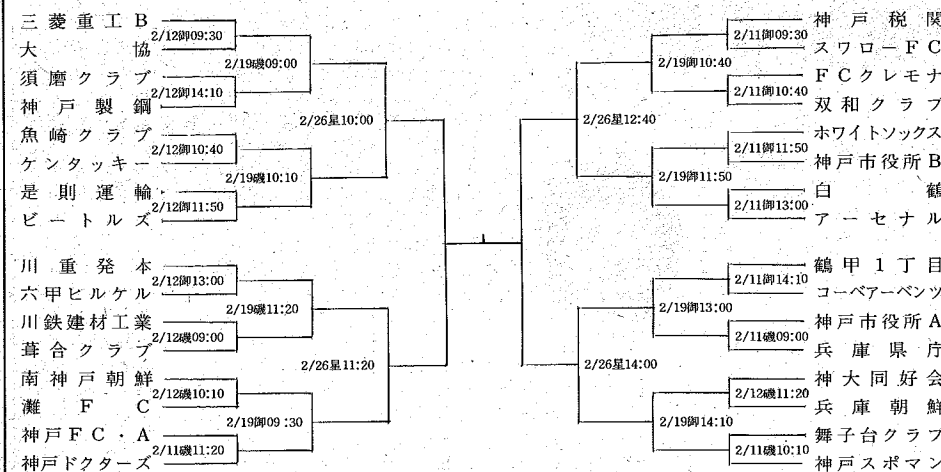
神戸市社会人リーグ選手権 追う神大同好会ら

神戸市社会人リーグ選手権大会は2月から3月にかけて行われる。出場は32チーム。組み合わせをみると葺合クラブ、六甲ヒルケルなどのいる左サイドに有力チームが集まっている。対する右サイドでは、1部リーグで優勝した神大同好会の決勝進出が予想される。

優勝候補の一番手は葺合クラブだ。軸になる中心選手が顔をみせれば、総合力では他のチームをやはり上回る。1回戦の川重発本と六甲ヒルケルの試合もおもしろい。昨年優勝

の川重発本は連覇をねらっており、どちらが勝っても葺合クラブの強敵となりそうだ。このほかではスワロー、双和クラブ、兵庫朝鮮、神戸スポマンなどが上位進出をめざしている。

【大会形式】勝た抜き方式。同点の場合はトスで次回に進むチームを決定。ただし、決勝戦のみ20分の延長を行う。【試合時間】1、2回戦一60分、3回戦一70分、準決勝と決勝一80分 【選手】試合開始時に10人に満たないチームは棄権とする。なお、5人まで交代できる。【その他】52年度リーグ戦要綱による。



兵庫協会だより

☆天皇杯の組み合わせ抽選会 53年度天皇杯全日本選手権大会の説明会と組み合わせ抽選会が、2月25日(土)午後6時より神戸登山研修所で行われる。各チームの代表者は必ず出席のごと。

☆兵庫カップ 関西学生リーグ1部の関西学院大学、関西社会人リーグの兵庫教員、新日鉄広畑、三菱重工神戸と52年度天皇杯全日本選手権兵庫大会でベスト4となった明倫クラブ、葺合クラブ、神戸大学、甲南大学の合わせて8チームによって争われる。2月5日に始まり、決勝は3月12日神戸中央球技場で行われる予定。

☆ユニオン、三木FC県リーグ残留 1月16日、入れ替え戦が行われ、ユニオンロマンチカと三木FCがそれぞれ神戸市役所(兵庫県社会人中央大会3位)、神戸FCユース(同4位)と対戦し、ともに引き分けた結果、兵庫県社会人リーグの残留が決定した。

神戸市社会人リーグ運営会議

2月16日(木) 3月16日(木)

本紙は次のところにもあります

関正スポーツ
東灘区住吉宮町4丁目6-13 ☎078(821)8449
国鉄住吉駅南側西へ20m

灘スポーツ
灘区倉石通5丁目1-8 ☎078(861)4671
市バス水道筋6丁目上がる100m東側

ヤマダスポーツ
葺合区熊内通6丁目3 ☎078(241)9317
雲中小学校前

塩谷スポーツ
兵庫区大開通7丁目5 ☎078(576)0870
パンドウ化学南

MEN'S SHOP MAC
三宮センター街店 ☎078(391)0895
プレザージュショップ ☎078(391)0896
トアロード店 ☎078(575)7688
神戸・新聞地店

全国高校選手権

御影工 無念の涙

個人技生かせず習志野に惜敗



1月2日から8日まで、国立競技場など4会場で行われた52年度全国高校選手権大会は、東京代表・帝京高の3年ぶり2度目の優勝で幕を閉じた。大会2日目に記録的な大雪に見舞われたものの、全般に好天気が続き、全国の代表31チームの選手たちが、元気なプレーをみせた。

兵庫代表の御影工は1月3日、大宮球技場で千葉代表・習志野高と戦い、前半に許した1点を返すことができず敗退した。

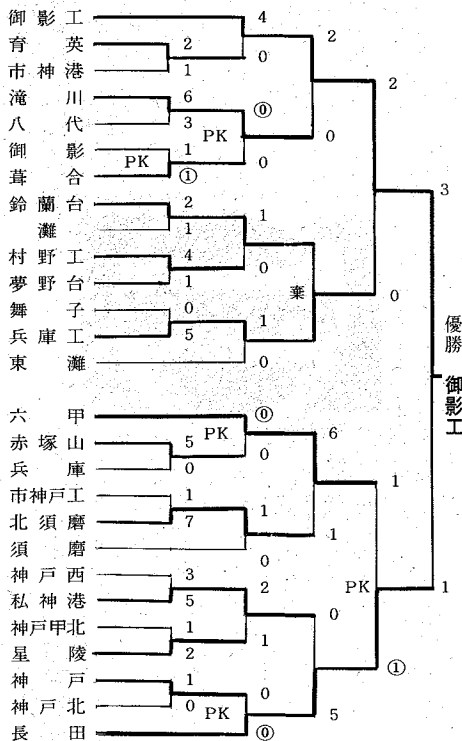
御影工 0(0-1)1 習志野

グラウンドは前夜から降り続いた豪雪で、最悪のコンディションとなった。ゴール前を除いて10センチほど積もった状態でキックオフ。両チームの選手とも足をとられ、思うようなプレーができなかったが、それでも個人

神戸市代表に 御影工など7校 ＝兵庫県高校新人大会＝

52年度神戸市高校新人大会 兼 兵庫県高校新人大会神戸市予選最終日は1月28日、御影工と長田の間で決勝戦が行われ、御影工が優勝した。御影工は全国高校選手権大会に出場した2、1年生が多く、個人技を主体とした高いレベルで長田を破った。長田は1回戦で神戸を、また準決勝では六甲をいずれもPK戦で退けるなど苦しい戦いの連続だったが、着実に力をつけている。なお、2月11日から開かれる兵庫県大会には、優勝した御影工をはじめ滝川、兵庫工、六甲、北須磨、私神港、長田の上位7校が出場する。決勝は2月26日(日)神戸中央球技場で行われる。

兵庫県高校新人大会神戸市予選結果



技のある御影工は中盤の柳、田中らがボールをキープし、好パスを出してゲームを組み立てる。一進一退が続いたあと前半35分、習志野FWに左サイドからゴールを決められ、結局この1点を最後まで返すことができず、涙をのんだ。

全国大会で通用するチームづくりを

0-1、試合終了を上げる主審の笛の音が冷たいグラウンドに響いた。がっくりする御影工のイレブン。初出場でも勝利をおさめることはできなかった。ロッカーームに引きあげても、精根尽きた選手たちは黙りこんだまま。くやしさがこみあげてくるのか、目には涙をうかべる者も…。

今回のメンバーから抜けるのは、3年生の5人だけ。その点に「来年こそ」の期待が集まる。塩形、大野、福田らの2年生に加えて、1年生の照岡、与、北川、浦野が、くやしさを今後の練習にどう生かすか、注目したい。

高校選手権に参加して

御影工監督 一北 四郎

120校が参加した兵庫県予選を勝ち抜いた時点では「やった」という気分より「さあ、これから大変だ」といった気持ちだが、先にたちました。兵庫代表になることだけを当面の目標としていましたから、全国大会で通用するチームづくりに手がまわらなかったところもあります。兵庫代表に決まってから全国大会までに組んだ練習計画は次の3つです。

1. 体力の向上(特に運動量とパワー)
2. チャンス、ピンチを感じて能力の養成
3. 苦しい時にがんばれる精神力の養成

これらの実現のために土、日曜日は北陽、枚方FCなど強いチームを相手に、実戦感覚を養い、欠点を修正してきました。平日は4時間以上のきびしい練習を繰り返し、一応それなりのレベルアップをはかり、大会にのぞみました。12月30日に上京し、調整に入りましたが、カゼで調子をくずしている者もいて、チーム力は万全ではなく、特に主将の柳は大腿(たい)部の肉離れの回復が遅く心配でした。



このくやしさを来年度に生かせ

新チームの選手はいずれも、小学生のころからボールに親しんでおり、これまでの兵庫チームにはみられなかった感覚をそなえている。ただ、全国大会で通用するには、いくつかの課題を解決しなければならない。これからの兵庫県では、御影工の時代が続くだろうとみる関係者が多い。それだけに自覚をもって、レベルの高いチームを相手に実戦を積み、勝負強さを身につけてもらいたいものだ。

また、この大会で興味を引いたのは、活躍したチームの地域の少年サッカーが盛んなことだ。言いかえれば、高校選手権で勝つためには、それぞれの地域で小、中学生にいい指導を与えることが大切となってくる。兵庫でも御影工の躍進で、その成果があらわれてきたといっってよいだろう。少年サッカー指導者がこの点に深い理解をもち、兵庫の代表になれば全国大会では必ずベスト4には入れるといわれるレベルに1日も早く到達できるよう関係各位の一層の努力をのぞみたい。



(1月3日、埼玉・大宮球技場) 大野(白)が突進したが習志野バックにはばまれる



1回戦の試合当日、目がさめると東京は一面の銀世界。グラウンド状態にあった作戦に切り換えねばなりませんでした。選手たちは意外に冷静で、ゲームは立ちあがりから押しきりに展開されました。しかし、かたい守

りにはばまれて得点をあげることができず、逆に1点を取られ、後半の必死の反撃もついに実りませんでした。試合内容では五分以上に戦っていただけに、残念な気持ちでいっぱいでした。

敗れた翌日からは、御影工がそして兵庫県のチームがよい成績をあげるためには何が大切かを考えながら、連日好カードを中心にグラウンドに足を運びました。御影工の選手の技術は全国レベルの中でも高い位置にいるのではないかと自負しております。しかし、これからは、80分ゲームをフルに動けるスタミナ(体力と精神力)作りと、個々の場面で1対1の戦いに負けない戦術眼を養うのが重要なテーマです。また、選手のレベルをもっともっと高め、全国の優秀選手に名前を連ねるようなプレーヤーを育てていかなければなりません。

高校選手権が首都圏開催に移って2回目ですが、観客が多いことは選手にとって大きな励みになります。特に、少年たちが目を輝かせて、浦和南の加瀬や帝京の早稲田らの動きを追い、あこがれの気持ちで声援している姿は、日本サッカーの将来を明るくものにしてくれることでしょう。浦和南が出場する大宮球技場が1回戦から1万人を超す観客がスタンドを埋めつくすには驚かされます。

神戸中央球技場でも、ビッグゲームにたくさんさんの少年たちが押しかけてくる時が一日も早くくるよう、少年サッカーを盛りあげることが大切です。そうすれば、自然と中学、高校へとつながり、兵庫県の高校のレベルは飛躍的に成長することでしょう。